



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 齊藤 正明 (TEL) 03-6439-1701
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	10,319	9.6	676	—	728	—	560	—
2020年12月期第1四半期	9,411	△17.6	△494	—	△434	—	△431	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,282百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △1,747百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	72.87	—
2020年12月期第1四半期	△56.14	—

(注) 前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年12月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	48,521	25,291	51.9
2020年12月期	46,722	24,240	51.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 25,187百万円 2020年12月期 24,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	9.3	△400	—	△350	—	△400	—	△51.99
通期	40,000	8.1	1,100	72.8	1,200	41.5	900	108.3	116.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	7,704,613株	2020年12月期	7,704,613株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	10,813株	2020年12月期	10,677株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	7,693,894株	2020年12月期 1 Q	7,679,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大にともない経済活動が制限されるなど、厳しい状況で推移いたしました。欧州では、英国型の変異株を中心に感染が再拡大した結果、ロックダウンを再実施する国もあり、経済活動の制限が長期化するなど、依然として不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましても、1月に緊急事態宣言が再び発出され、店舗の時短営業や外出自粛による来店客数の減少が長期化しており、3月下旬の緊急事態宣言解除後は一部回復の兆しはみられましたが、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、経営環境の変化に対応すべく、EC事業をさらに強化してまいりました。またコロナ禍においても、好調なブランドの新規出店を推し進め売上高の増加に努めてまいりました。一方、不採算ブランドの廃止や不採算店舗の撤退、仕入の抑制や経費の削減などの施策にも取り組み、徹底した効率経営を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は103億1千9百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は6億7千6百万円(前年同期は4億9千4百万円の営業損失)、経常利益は7億2千8百万円(前年同期は4億3千4百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千万円(前年同期は4億3千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、EC事業において、店舗とECとの在庫連携機能を引き続き強化するなど、お客さまの利便性の向上に取り組んだ結果、EC事業の売上高は前年同期より大幅に増加いたしました。店舗においては、時短営業等の影響により厳しい環境が続きましたが、主力ブランドの「イルビゾンテ」「マリメッコ」では新規出店政策を推し進めたことにより、また「A.P.C」ではコラボレーション商品の発売など効果的な販促活動を実施したことにより、売上高は堅調に推移いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は56億6千7百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は3億3千9百万円(前年同期比264.0%増)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディー룩において、新型コロナウイルス感染症に対する国の警戒レベルが引き下げられたこともあり、店舗への来店客数が回復したことに加え、自社ECサイト「I.D. LOOKモール」の認知度向上のためのプロモーションを強化した結果、売上高が増加いたしました。株式会社アイディージョイにおいても、来店客数が回復し、売上高が増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億5千3百万円(前年同期比24.7%増)、営業利益は2億2千6百万円(前年同期は4千8百万円の営業損失)となりました。

「欧州」につきましては、イタリアやフランスで新型コロナウイルス感染症拡大にともなう直営店舗の休業などが続いておりますが、主力である卸売事業は引き続き堅調に推移いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11億8千6百万円(前年同期比32.3%増)、営業利益は2億1千6百万円(前年同期比107.1%増)となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、룩(H.K.) Ltd.(香港)において、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう行動制限が一部緩和されたことにより、来店客数は徐々に回復してはいるものの、店舗での売上高は依然厳しい状況が続いております。米国においては、直営店舗の通常営業は再開されたものの、来店客数の減少が続いており、売上高は非常に厳しい状況となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8千5百万円(前年同期比11.3%減)、営業損失は4千8百万円(前年同期は3千8百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は109億9千2百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は7億3千3百万円(前年同期比563.4%増)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社룩モードにおいて、グループ内への売上が増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6億9百万円(前年同期比2.8%増)、営業損失は1千4百万円(前年同期は4千1百万円の営業損失)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、主にEC物流の取扱高が増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億2千9百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益は3千8百万円(前年同期比185.0%増)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、緊急事態宣言の発出にともなう時短営業の実施により、店舗での売上高は減少いたしました。また、宅配サービスの売上高は伸長いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9百万円(前年同期比2.9%減)、営業損失は8百万円(前年同期は8百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が6億2千7百万円、季節要因により受取手形及び売掛金が2億8千6百万円、時価の上昇により投資有価証券が2億7千7百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億9千9百万円増加し、485億2千1百万円となりました。

負債は、借入金の純増額が5億8千6百万円あったことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億4千8百万円増加し、232億2千9百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が3億2千9百万円増加したことに加え、時価の上昇によるその他有価証券評価差額金、為替レートの変動による為替換算調整勘定がそれぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億5千万円増加し、252億9千1百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は51.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の見通しにつきましても厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

2021年1月の緊急事態宣言の発出に続き、4月には本年2度目の同宣言が発出され、国内の商業施設や直営店舗が臨時休業や営業時間の短縮を実施しており、引き続き業績への影響は避けられない状況です。このような状況に対し、当社グループはコスト抑制をはじめとする対策を推進し、当第1四半期連結会計期間においては前年同期に比べ大幅に収益改善をいたしましたが、先行きは極めて不透明な状況であることから、2021年2月17日に公表いたしました2021年12月期の連結業績予想は据え置き、連結業績予想の変更が必要と判断された時点で速やかに公表することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,260	6,888
受取手形及び売掛金	4,625	4,911
商品及び製品	9,189	9,356
仕掛品	659	787
原材料及び貯蔵品	639	495
その他	544	582
貸倒引当金	△40	△44
流動資産合計	21,878	22,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,451	2,456
土地	515	531
その他(純額)	853	871
有形固定資産合計	3,820	3,858
無形固定資産		
マーケティング関連資産	10,603	10,740
のれん	3,280	3,307
その他	295	464
無形固定資産合計	14,180	14,512
投資その他の資産		
投資有価証券	1,901	2,179
退職給付に係る資産	536	628
繰延税金資産	1,685	1,702
敷金	2,351	2,297
その他	540	537
貸倒引当金	△173	△172
投資その他の資産合計	6,842	7,172
固定資産合計	24,843	25,543
資産合計	46,722	48,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,810	2,576
短期借入金	2,480	3,680
1年内返済予定の長期借入金	1,967	1,383
未払金	117	137
未払費用	1,905	1,892
未払法人税等	144	273
未払消費税等	245	260
返品調整引当金	20	12
賞与引当金	148	324
ポイント引当金	43	46
資産除去債務	48	57
その他	322	202
流動負債合計	10,254	10,846
固定負債		
長期借入金	8,071	8,042
繰延税金負債	3,211	3,300
退職給付に係る負債	331	328
役員退職慰労引当金	—	1
資産除去債務	249	220
その他	363	489
固定負債合計	12,226	12,383
負債合計	22,481	23,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,380	6,380
資本剰余金	1,661	1,661
利益剰余金	15,691	16,021
自己株式	△13	△13
株主資本合計	23,721	24,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	618
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△7	518
その他の包括利益累計額合計	419	1,136
非支配株主持分	99	103
純資産合計	24,240	25,291
負債純資産合計	46,722	48,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	9,411	10,319
売上原価	4,773	5,070
売上総利益	4,637	5,249
販売費及び一般管理費	5,132	4,572
営業利益又は営業損失(△)	△494	676
営業外収益		
受取利息	6	2
為替差益	—	51
貸倒引当金戻入額	13	2
受取返戻金	43	—
その他	69	46
営業外収益合計	134	102
営業外費用		
支払利息	37	22
為替差損	17	—
固定資産除却損	2	5
その他	16	22
営業外費用合計	73	50
経常利益又は経常損失(△)	△434	728
特別利益		
助成金収入	—	73
関係会社貸倒引当金戻入額	1	—
資産除去債務戻入益	11	1
その他	—	5
特別利益合計	13	80
特別損失		
臨時休業等による損失	—	96
減損損失	71	0
投資有価証券評価損	21	—
倉庫移転費用	15	—
その他	0	3
特別損失合計	108	101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△529	707
法人税等	△98	145
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△430	562
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△431	560

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△430	562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△534	192
繰延ヘッジ損益	△2	△1
為替換算調整勘定	△780	528
その他の包括利益合計	△1,316	719
四半期包括利益	△1,747	1,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,742	1,277
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	5,654	3,236	247	95	9,233	144	23	9	9,411	—	9,411
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	13	649	—	670	447	257	—	1,375	△1,375	—
計	5,662	3,250	896	95	9,904	592	280	9	10,787	△1,375	9,411
セグメント利益 又は損失(△)	93	△48	104	△38	110	△41	13	△8	74	△568	△494

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△130百万円、セグメント間の取引に関わる調整額373百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△812百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
5,831	3,236	247	41	31	23	9,411

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	5,660	4,039	398	85	10,183	109	17	9	10,319	—	10,319
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	14	787	—	809	499	312	—	1,621	△1,621	—
計	5,667	4,053	1,186	85	10,992	609	329	9	11,941	△1,621	10,319
セグメント利益 又は損失(△)	339	226	216	△48	733	△14	38	△8	748	△71	676

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△138百万円、セグメント間の取引に関わる調整額443百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△376百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定に伴う取得原価の当初配分額の重要な見直しに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
5,797	4,039	398	44	29	11	10,319

(注) 欧州に属する主な国または地域: イタリア、フランス

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2019年7月1日に行われたBisonte Italia Holding S.r.l.との企業結合について2019年度第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ9百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純損失が34百万円減少しております。